

「緑の分権改革」推進事業に係る実証調査箇所選定のための現地調査概要

○参加者

5月31日（月）

池田会長、飯尾委員、丸山委員、山本委員、事務局（中島主事）

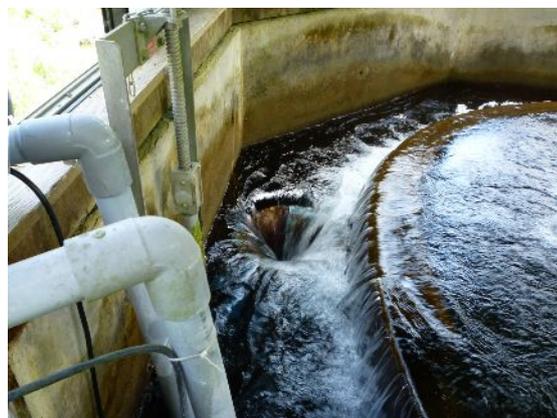
6月1日（火）

池田会長、飯尾委員、丸山委員、山本委員、事務局（小林係長、中島主事）

○調査の概要

5月31日（月）

（1）栄村 北野天満温泉横の湧水



▽流水先に発電設備を設置することも可能だが、段差の下場所になるため、目立たない。（来場者が分からない。環境教育などにも使いにくい。）



▽水が湧いている場所からパイプ管等で水を運び、上の段に小さなタンクを設置して水をため、そこから水を流水先に落として発電する方法も考えられる。



▽温泉の入り口付近まで水を運び、そこから、川に落とす方法もある。その場合、8KW程度の発電量が期待できるが、工事費がかなり生じる。

（この場合は、実証調査ではなく、補助金をもらって実施した方がよい）

▽北野天満温泉の施設（奥）と、湧水を飲むことができる場所（手前）



(2) 野沢温泉村 下水道処理施設内のまくね川

▽施設の東側（上流側）に、選定調書に記載されていた規模以上の落差のある箇所が存在し、調査を実施。



(↑下流から撮影)



(↓上流から撮影)



6月1日(火)

(3) 箕輪町 西天龍

▽どこの箇所も水量は多いが、流れも緩やかで、落差が全く無い



▽サイフォンの出口の部分 (渦を巻いている部分が、サイフォンの出口)



▽サイフォンの入口の部分 (渦を巻いている部分がサイフォンの入口)



(4) 木曾町 長野県水産試験場木曾試験地

A : 試験用貯水池からの排水



B : Aの水をまとめて、敷地内の水路へ排水



C : Bの水路の最終排水先 (正沢川へ排水)



(5) 木曾町 万郡沢

▽落差のある場所 (下から撮影)



▽落差箇所を上から撮影



▽落差のある場所の上流

